

今冬の電力需給見通しについて

2018年11月8日
北陸電力株式会社

本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において、今冬の電力需給に係る対応がとりまとめられました。

この中で示された、北陸エリアの今冬の需給見通しは以下のとおりです。

【北陸エリアの今冬の電力需給見通し】

厳寒（2017年度並みの気象）の場合

（送電端、単位：万kW、%）

	12月	1月	2月	3月
供給力	545	572	565	529
最大電力	520	543	543	496
供給予備力	25	28	22	33
供給予備率	4.7	5.2	4.0	6.7

（注1）供給力は火力増出力運転・連系線の活用を考慮

（注2）最大電力はいずれも一日最大で想定している。

なお、同小委員会において、連系線を活用した電力融通等が行われることにより全国の各エリアで供給力を確保できる見通しが示され、今夏に引き続き、国として当社エリアについては特別な節電を実施しない方針が示されました。一方で、大規模な電源脱落等により電力需給がひっ迫する場合への備えとして、需要面での取組の促進や電力需給状況の情報発信等の対応を行うことも示されました。

当社としても志賀原子力発電所および七尾大田火力発電所2号機が停止している中、今後の気温影響や大型電源のトラブルなどの不確定要素を考慮すると、厳しい需給状況となるため、電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電力の安定供給に努めてまいります。

引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以上